

社会・労働関係文献月録

・分類表は1991年5月号に掲載されています。
 ・収録誌の一覧は1991年6月号に掲載されています。
 ・掲載文献は研究所で閲覧・複写できます。所内での複写は有料です。なお、文書等（葉書・FAX・e-mail可）で申込みの場合は、複写料および送料実費で申し受けます。定期購読者に限り、複写料は割引いたします。

法政大学大原社会問題研究所編 ☎ 042-783-2305
 東京都町田市相原町4342 (〒194-0298) F. 042-783-2311

2004.2.1～2004.2.29受け入れ分

(文献資料名) (著者名) (収録誌名) (巻-号)(月号)
 *印単行書の場合→ (発行所) (割・頁)(割辞用)

I 理論・一般

0. 総記

マルクスの再生産論の論理	伊藤 武	大阪経大論集	53-5	03.1
世界の労働関係研究所・資料館・図書館(6)	五十嵐仁	大原社会問題研究所雑誌	535	03.6
世界の労働関係研究所・資料館・図書館(7)	五十嵐仁	大原社会問題研究所雑誌	536	03.7
社会主義の足跡とその今日的課題	関 嘉彦	改革者	512	03.3
山田盛太郎『日本資本主義分析』の「段階的」媒介環	中根康裕	商学論集(福島大)	71-1	02.8
環境問題と産業・労働社会学—方法論的接近にむけて	山田修嗣	文教大学国際学部紀要	13-2	03.2
最近の労働科学関係雑誌記事索引(I)		労働科学	79-1	03.1
*生産システムの革新と進化	都留康編著	日本評論社	A5.238	01.9
*DV裁判	北村朋子	郁朋社	B6.207	03.10
*男女共同参画の時代	鹿嶋敬	岩波書店	B40.235	03.12
*若者はなぜ「決められない」か	長山靖生	筑摩書房	B40.237	03.11
*ヨーロッパ社会民主主義論集6		生活経済政策研究所	B5.69	03.12
*現代イギリスの政治算術				
D.ドーリング, S.シンプソン編著 岩井浩, 金子治平, 近昭夫, 杉森滉一監訳		北海道大学図書刊行会	A5.588	03.7
*この道は丘へと続く アグネス・チャン, マイラ・ストロバー著	桃井緑美子訳	共同通信社	B6.381	03.9
*マルクスを超えるマルクス アントニオ・ネグリ 清水和巳他訳	作品社		B6.465	03.9

1. 労働論

特集 NPOと労働		日本労働研究雑誌	515	03.6
NPOと労働(日本労働研究雑誌編集委員会) NPO活動のための法的環境整備(山口浩一郎) NPOの労働需要(宮本 大) NPOと「働く」意味の変容(座談会)(網川正明 浜辺哲也 山岸秀雄 司会: 玄田有史) 育児による女性の生涯所得減少効果の日仏比較(西村 智)				
なぜ、今ナレッジワーカーなのか	林 誠	能力開発21	24-6	03.6
労働と教育, 知識	鈴木典夫	福岡教育大学紀要 社会科編	52	03.2
少子化時代の働き方(座談会)				
(武石恵美子 小堀欣平 吉宮聡悟 司会: 吉岡てつを)		労働時報(厚生労働省)	56-2	03.2
*働き方の未来 大沢真知子, スーザン・ハウスマン編著 大沢真知子監訳		日本労働研究機構	A5.457	03.3

2. 労使(資)関係論

1990年代の労使関係	河野 穰	桜美林大学産業研究所年報	20	02.3
政労使間プロトコル(1973年7月23日), Concertazione, 統一組合代表(1990年代のイタリアの労使関係)				
	河野 穰	桜美林大学産業研究所年報	21	03.3

3. 労働経済論 (含 賃金論)					
可変資本と労賃	伊藤 武	大阪経大論集	54-1	035	
賃金の市場価格化はどのように進むか	小柳勝二郎	関西経協	57-3	033	
わが国の名目賃金は下方硬直的か? (Part I)	黒田祥子, 山本勲	金融研究	22-2	036	
わが国の名目賃金は下方硬直的か? (Part II)	黒田祥子, 山本勲	金融研究	22-2	036	
日本とEU諸国における実収賃金, 間接賃金の比較	小野寺剛	経済学年誌 (法政大)	38	33	
4. 経営労務論					
職務パフォーマンス研究の展開	関口倫紀	日本労働研究雑誌	515	036	
専門職制度がもつ人事労務管理上の意義	原口恭彦	関東学園大学経済学紀要	30-2	032	
日本製造業におけるラインカンパニー制に関する研究	大場允晶	経済集志 (日本大)	72-3	0210	
特集 組織と戦略のダイナミック・インタラクション: 考える経営者	組織科学		36-4	036	
組織能力と製品アーキテクチャ (藤本隆宏) 市場の時代の人的資源管理 (清家 篤) 日本電力業の発展と経営者個人の役割 (橋川武郎) 組織の認識スタイルとしての環境決定論と主体的選択論 (加護野忠男) 草創期の経営者・渋沢栄一 (島田昌和)					
5. 社会政策, 社会福祉, 社会保障論					
「見える国家」と「見えない国家」についての辺見庸氏の所説	渡部恒夫	鹿児島経済論集 (鹿児島国際大)	43-3	0212	
福祉職の養成プロセスにおける職業興味の促進に関する研究	桐原宏行, 小林弘人, 伊藤秀一, 長尾譲治	駒沢社会学研究	35	033	
社会福祉法人のガバナンス	前鼻英蔵	産研論集 (札幌大)	28	033	
ユーザーから生活者への転換の論理としての複雑系理論	舟場正富	商大論集 (神戸商科大)	54-6	033	
* 社会福祉のゆくえを読む	伊藤周平	大月書店	B6179	0312	
* 介護福祉学の探究	一番ヶ瀬康子	有斐閣	B6295	038	
8. 職業教育・訓練論					
The effect of "coordinator roles" on student group-work productivity	Eric Rambo/Neil Matheson	Journal of policy studies (関西学院大)	14	033	
II 労働問題					
10. 総記					
労働者の個人情報保護問題と企業の対応 (抜粋)	関西経営者協会労働政策特別委員会・個人情報保護問題専門委員会	関西経協	57-6	036	
性差別賃金解消への課題	黒岩容子	女性としごと	39	036	
* 失業生活幸福化計画	かしこく失業生活する会編	永岡書店	A6253	037	
11. 雇用・労働市場					
雇われない生き方について	伊藤明彦	鹿児島経済論集 (鹿児島国際大)	43-4	033	
労・使の連携による新たな雇用対策	山本憲治	関西経協	57-6	036	
職安求職者にみる失業の実態	松丸和夫, 坂田幸繁, 大須眞治, 小澤薫, デイディエ・ドマジエール, ナディア・アラウジョ・ギマラエス, 平田澄子, パオラ・モンタネール, 杉田くるみ, マリア・テレーザ・ピニョニ, 岩井浩	研究所報 (法政大)	29	0212	
特集 非正規/非典型雇用とワークスタイル		国際経済労働研究	931	037	
人事採用における遺伝子情報の取り扱いと倫理的諸問題に関する考察	木島伸彦	産業・組織心理学研究	16-2	033	
労働・雇用の重層性と失業, 賃金格差	菊本義治	商大論集 (神戸商科大)	54-5	033	
「だらしない」のは若者か	後藤道夫	婦人通信	540	037	
失業保険制度の再構築 - 歴史的変遷, 法及び保険理論, ならびに労働市場政策の観点から	小西康之	明治大学社会科学研究所紀要	41-2	033	
セクハラにおける使用者の損害賠償責任	小宮文人	労働法律旬報	1546	032下旬	
特集 短時間勤務公務員の処遇問題と訴訟の動向		労働法律旬報	1552	035下旬	

公務非常勤職員の雇止めに対する司法救済の可能性（森 博行）行政追従の形式的判決（伊藤幹郎）鳴門市
 従・臨時職員問題について（森 信雄）「臨時・非常勤職員」の雇止めおよび均等待遇をめぐる最近の判例・
 裁判闘争における法的諸問題の検討（松尾邦之）

12. 労働条件				
公立学校教員と措置要求制度	坂田 仰	家政経済学論叢（日本女子大）	39	03.5
企業の社会的責任と労働基準をめぐる国際的動き	栗山直樹	連合国際レポート	21	03.6
13. 賃金問題				
賃金の新しい機能と社会改革の必要性	山田 久	関西経協	57-6	03.6
男女間の賃金格差をなくすポイントは女性の管理職比率を高めること（インタビュー）	笹島芳雄	賃金実務	929	03.7.1
男女間の賃金格差解消のための賃金管理および雇用管理改善方針に係るガイドライン	厚生労働省	賃金実務	929	03.7.1
ポジティブ・アクション推進企業における取組み内容一覧	厚生労働省	賃金実務	929	03.7.1
格差のない賃金の実現に向けて格差解消への取り組みと課題	笹島芳雄	労働法学研究会報	2295	03.6.20
14. 労働時間				
特集 労働時間が変だ！権利としてのゆとりある働き方を		女性としごと	39	03.6
なぜ日本の労働時間は長くてきついのか（松本重延）豊かさはゆったり時間から始まる（猿田淑子）歪んだ労働時間がもたらす歪んだ社会（林 葉子）「仕事時間」から「私時間」をとり戻そう（木下奈々 前田深幸 佐々木和彦 宮下晴美）				
家族から職場から“サービス残業おことわり”の声あげて	高田公子	前衛	762	03.4
深夜業免除問題でゆれるJAL	藤本ゆうこ	労働情報	626	03.7.1
15. パート・派遣・家内労働				
The situation part-time workers face and future tasks	Atsushi Sato	Japan labor bulletin	42-6	03.6
特集 パート労働の国際比較2		大原社会問題研究所雑誌	535	03.6
オランダにおける働き方の多様化とパートタイム労働（正木祐司, 前田信彦）ドイツ新パートタイム労働法制の2年間（宮前忠夫）男女均等待遇原則の主流化に向かってEU労働法制の展開（中）（柴山恵美子）韓国における労働市場の柔軟化と非正規労働者の規模の拡大（横田伸子）				
特集 パート労働の国際比較3		大原社会問題研究所雑誌	536	03.7
「意識」としての労働政策（佐藤とよ子）日本における労働力の重層化とジェンダー（三山雅子）				
02年度人材ビジネス業績調査 BEST50	月刊人材ビジネス編集部	月刊人材ビジネス	204	03.7
第2回派遣スタッフ満足度調査 派遣スタッフたちはフォローを期待している				
月刊人材ビジネス編集部		月刊人材ビジネス	204	03.7
派遣労働を利用する理由は「従業員数の抑制」のため	月刊人材ビジネス編集部	月刊人材ビジネス	204	03.7
多様化する雇用形態のもとでみる派遣労働	神村俊一	労務研究	660	03.6
16. 女性労働				
特集 男女雇用機会均等月間		Women & Work	144	03.Summer
トップは決断 女性もチャレンジ（厚生労働省雇用均等・児童家庭局雇用均等政策課）ベンチマーク事業について（厚生労働省雇用均等・児童家庭局雇用均等政策課）男女間の賃金格差解消のための賃金管理及び雇用管理改善方針に係るガイドラインについて（厚生労働省雇用均等・児童家庭局雇用均等政策課）				
企業による従業員のジェンダー・イメージの創出	古宇田千恵	紀要 社会学科（中央大）	13	03.3
無償労働評価とジェンダー平等政策	橋本美由紀	経済学年誌（法政大）	38	03.3
女性従業員の有効活用のための一考察	牛尾奈緒美	明治大学社会科学研究所紀要	40-1	01.10
女性が一層活躍できる環境整備を	布山祐子	労経ファイル	360	03.7.1
* 貧困に立ち向かう仕事	西水美恵子	明石書店	B6.213	03.10
17. 中高年労働				
3つの業界がガイドライン作成	高齢協会	労経ファイル	360	03.7.1

19. 外国人労働				
Hellowork offices for foreign workers open in Tokyo and Osaka	Japan labor bulletin		42-6	03.6
日本における外国人労働者問題の変遷と新たな政策課題 依光正哲	社会学研究 (一橋大)		41	03.2
「第三帝国」における外国人労働者 池田浩士	寄せ場		16	03.5
20. 技術革新				
基金・連合会IT化推進の動き (報告)	企業年金		286	03.6
21. 労災, 職業病, 健康問題				
監督者のためのリスクアセスメント入門 安全衛生のひろば編集部	安全衛生のひろば		44-7	03.7
飲酒と糖尿病: 壮年期男子勤労者における検討 中西範幸, 吉田寛, 仁科一江, 岡本光明, 李文娟, 松尾吉郎, 多田羅浩三	厚生指標		50-6	03.6
社員の健康管理と企業の責任 (2) 外井浩志	旬刊労働実務		1399	03.6.21
特集 広がる労働安全衛生マネジメントシステム 働く人の安全と健康			54-7	03.7
OSHMS導入の成果と展望 (座談会) (石田昌敬 櫻井廣知 福成雄三 司会: 木村嘉勝) JISHA方式適格OSHMS認定事業について (中央労働災害防止協会)				
特集 働きやすい職場づくり 民医連医療			371	03.7
民医連職員の健康管理の現状 (田村昭彦) 「安全・健康民医連2010」(服部 真) 職場のメンタルヘルス (野中猛) 精神科外来から見たメンタルヘルスの5つの注意点 (岩田 俊) 心の健康-産業保健・精神保健-における基礎的事項 (広瀬俊雄) 千葉・二和病院群の安全衛生委員の活動と職員の健康管理 (児島玲子) 他				
リストラに対応できる安全管理の考え方 竹川土夫	労働安全衛生広報		822	03.7.1
高年齢VDT作業者の作業実態と疲労自覚症状 鶴原亜紀, 井戸啓介, 北島洋樹	労働科学		79-1	03.1
特集 第三者安全評価のいま1 労働の科学			58-7	03.7
現場で活用しやすい安全評価システムとは (長谷川尚子 高野研一)				
特集 第三者安全評価のいま2 労働の科学			58-7	03.7
質問紙調査における安全意識評価の視点 (福井宏和)				
特集 第三者安全評価のいま3 労働の科学			58-7	03.7
現物現場に則した安全評価へのアプローチを (古賀良男)				
特集 第三者安全評価のいま4 労働の科学			58-7	03.7
組織安全の確保に向けた今後の組織アクションの方向性 (菅沼 崇)				
*新・最近の労働災害 厚生労働省労働基準局安全衛生部編著	日本労務研究会		B5.515	02.12
23. 生活問題				
貯蓄する労働者 真鍋能章	立命館経済学		52特別号	03.前期
Ⅲ 労働運動				
30. 総記				
特集 日本における労働者階級の状態 (下) 科学的社会主義			63	03.7
京成労組二〇〇三年春闘「バス事業分離」白紙撤回の闘いから (宮川敏一) 保育所の規制緩和と職場の実態 (星 初子) 農協再編と農協労働者の実態 (畠山勝巳) 起ち上がる郵政非常勤労働者 (金沢久三) NTT-11万人首切合理化後の労働実態 (小柳敏朗) 鉄鋼合理化と住金と歌山における実態と闘い (西郷 章)				
アメリカの企業内雇用紛争処理 池添弘邦	関西経協		57-6	03.6
大阪府の個別労使紛争解決支援制度について 本郷隆夫, 増木茂	関西経協		57-6	03.6
労使協議制・苦情処理制度の実情と機能 中村和夫	関西経協		57-6	03.6
ブロードウェーのストライキは私たちに勇気を与えました 氏橋啓司	季刊オーケストラ		51	03.夏
厳しい経済・雇用情勢を反映し右肩上がりの実績が続く 厚生労働省大臣官房地方課労働紛争 処理業務室	月刊社会保険労務士		39-6	03.6
本質は、デッチ上げによる組合潰しだ 村野満男, 後藤昌次郎	マスコミ市民		413	03.6
31. 労働組合・運動論				
労働運動の現状と課題 高木 剛	UIゼンセンコンパス		53-7	03.7

新しい社会運動の模索	伊田広行	大阪経大論集	53-5	03.1
労働組合の今日的課題と取り組み（講演）	藤井 博	季刊オーケストラ	51	03.夏
雇用労働者を巡る変化と社会改革プラン（上）（報告）	小森良三	月刊先駆	773	03.6
ネットで変わる労働運動・市民運動つながることが力を生み出す NPOと労働組合がめざすパートナーシップの姿（座談会）	（浜谷惇 鹿野和彦 山口郁子）	全通調査時報	75	03.6
どうする組織拡大	鹿田勝一	賃金と社会保障	1340	03.2下旬
経営戦略論から見た労働組合の課題（講演）	今野浩一郎	電機総研リポート	286	03.6
ワーク・シェアリング	宮島尚史	労働法律旬報	1546	03.2下旬
「ワークシェアリングに関する政労使合意」の問題点	清水 明	労働法律旬報	1546	03.2下旬
ワークシェアリング論議から、何を考えるか	鴨田哲郎	労働法律旬報	1546	03.2下旬
32. ナショナルセンター				
首切り自由は認められないと野党4党で意思統一できている	小沢和秋	月刊全労連	78	03.7
全労連の仲間と手を携えて労働法制改悪に反撃していく	子島利夫	月刊全労連	78	03.7
とんでもない労働法制改悪阻止へ職場・地域から大きなウネリを	熊谷金道	月刊全労連	78	03.7
労働法制改悪反対闘争を職場・地域から飛躍的に	生熊茂実	月刊全労連	78	03.7
34. 単産、単組				
いまなぜ再教育機関か	全日本海員組合総合政策部	海員	55-6	03.6
職場要求の前進を・・・労組役員として（座談会）				
（小林君男 大崎好雄 山口豊和 阪本裕 司会：阪井清二 文書発言：矢野弘士）		交流誌	18	03.2
運賃改定問題も議論	全乗連	ザ・タクシー	35-6	03.6
鉄建公団訴訟を軸に第二段階へ飛躍した国鉄闘争		地域と労働運動	32	03.6
よみがえれ！国労（1）	川副詔三	地域と労働運動	32	03.6
民医連看護の基礎づくりにかかわって	森藤相子	民医連医療	371	03.7
底辺からの産別・業種別共闘の組織化をめざす	本村 真	労働通信	216	03.7
36. 賃金闘争（含 生活改善闘争）				
2003年春闘スタート	井出本榮	海員	55-3	03.3
特集 03春闘を振り返る		月刊全労連	78	03.7
春闘から春闘へ（中野隆宣）“新しい春闘”をつくりあげるにふさわしい討論を（坂田晋作 桑田富夫 田中千恵子 坂内三夫 司会：寺間誠治）				
主要機関調査にみる03年賃上げ結果		賃金実務	929	03.7.1
国際競争力と賃金引き下げは結びつかない	若松英幸, 浅井茂利	連合	164	03.7
生活水準確保には労働条件の底上げが必要	山口登守	連合	164	03.7
不景気、不況、と言われ続けて12年なぜ労使紛争が激化しないのか	斎藤精一郎	連合	164	03.7
38. 合理化・雇用対策				
*リストラ？やってみろ！	船橋 哲	ネコ・パブリッシング	B6.227	03.9
39. 権利闘争				
アルバイトにだって、労働者の権利はある	平野幹雄	人権21	164	03.6
いきいきと輝いて働き続けたい	田中純子	人権21	164	03.6
41. 教育文化宣伝活動				
あらゆる言論に網をかける個人情報保護法 萎縮したら思うつぼです	亀井 淳	機関紙と宣伝	842	03.7
42. 労働者福祉運動				
協同労働の仕事おこしに期待すること（講演）	堀内光子	協同の発見	131	03.6
社会的企業と新しいタイプの協同組合	岡安喜三郎	協同の発見	131	03.6

IV 経営労務

51. 人事・労務管理

どうやって社長を正直にするか? (ロナルド・P. ドーア 稲上毅 司会:尾高煌之助) Workingpaper	112	03.3
「指導力不足教員」を生まない条件整備とサポートが急務 新堰義昭 クレスコ	28	03.7
人事労務管理の本質的課題に関する考察 佐藤正男 東北福祉大学研究紀要	27	03.3
旭硝子の方針管理・業績評価制度 藤井 久 日労研資料	別冊	03.版
アドバンテストの新人事制度 菅江 均 日労研資料	別冊	03.版
エスアールエルの管理職目標制度 志茂和泰 日労研資料	別冊	03.版
人事制度再構築の実際 笹田 学 日労研資料	別冊	03.版
人事担当者のためのバランス・スコアカード (1) 青山信一 日労研資料	別冊	03.版
人事担当者のためのバランス・スコアカード (2) 寺崎文勝 日労研資料	別冊	03.版
多面評価制度の実際 千松哲也 日労研資料	別冊	03.版
テレワークの抱える問題点と課題 向井三貴 日労研資料	別冊	03.版
ニチレイにおける多面観察制度の導入と展開 木谷 宏 日労研資料	別冊	03.版
日本IBMにおける“e-ワーク制度” 子原正明 日労研資料	別冊	03.版
日本型人事管理復権のシナリオ (講演) 伊丹敬之 日労研資料	別冊	03.版
能力主義・成果主義人事への科学的アドバイス 岡本浩一 日労研資料	別冊	03.版
富士通の成果主義人事制度 飯島健太郎 日労研資料	別冊	03.版
日本企業の人事処遇制度—その動向に関するレポート 社会経済生産性本部・雇用システム研究センター 労使の焦点	243	03.6
* 人視点と経営視点を融合する人材マネジメント 社会経済生産性本部社会労働部編 社会経済生産性本部生産性労働情報センター	A4.201	03.11
* 図解でわかる部門の仕事 改訂版 人事部 角尾貞夫, 大南幸弘, 稲山耕司 本能率協会マネジメントセンター	B6.262	03.7
* 小さい会社の労働基準法と就業規則 大橋俊二監修 西東社	A5.255	03.8
* キャリア・カウンセリング 改訂新版 木村 周 雇用問題研究会	A5.348	03.9

52. 賃金管理

成果主義導入・定着プロセスにおける従業員の意識変化とトップ・人事部門・上司の影響 開本浩矢 商大論集 (神戸商科大)	54-2	02.10
成果主義導入プロセスにおける従業員の公正 加納郁也, 開本浩矢 商大論集 (神戸商科大)	54-5	03.3
業績連動型賞与の実際 瓜生光裕 日労研資料	別冊	03.版
東洋紡の業績連動型賞与制度 伊藤重光 日労研資料	別冊	03.版
定昇制度再設計担当者が知っておきたい実務のポイント 加藤 孝 労政時報	3590	03.6.20

54. 定年制, 退職金, 企業年金

確定拠出年金制度を軸とする新退職金制度への移行 秦 穰治 関西経協	57-3	03.3
退職金・企業年金制度改革の労働法的留意点 森戸英幸 関西経協	57-3	03.3
退職金・企業年金の動向と展望 石田重森 関西経協	57-3	03.3
中小企業退職金共済制度の改正概要とこれからの役割 笹木正敏 関西経協	57-3	03.3
特集 かわる退職給付制度と企業年金その背景と選択をみる 企業年金	286	03.6
代行返上の実施の政省令と関連通知 厚生年金基金の財政運営における弾力化措置		
投資顧問会社の合同運用について (報告) 企業年金	286	03.6
特集 企業年金・退職金の最新動向2 月刊人事労務	173	03.7
確定給付企業年金の導入の仕方 (高原宣昭) (株) 電通国際情報サービスの確定拠出年金制度 (高原宣昭)		
年金制度における確定拠出年金の位置付け 石田成則 週刊社会保障	2238	03.6.16
旭化成 (部課長) の退職一時金制度 元田勝人 日労研資料	別冊	03.版
サンデンの新退職金制度への改訂 秦 穰治 日労研資料	別冊	03.版
大和証券グループの退職金制度改革 山本太一 日労研資料	別冊	03.版

日立製作所の確定拠出年金制度	萩原 靖	日労研資料	別冊 03版
*退職金制度の変革 勤労者の退職金制度のあり方に関する研究会編	雇用情報センター		A5.217 03.9
55. 福利厚生			
2003年民間49労組本誌第35回調査福利厚生関連要求と妥結状況		旬刊福利厚生	1804 03.6
中核市18団体・特例市36団体2003年度地方公務員の福利厚生水準(上)		旬刊福利厚生	1805 03.6.28
*職域福利	藤田至孝	日本労働研究機構	A5.289 03.3
56. 教育・訓練			
なぜマナー研修は身につかないのか	久保田美紀	企業と人材	811 03.3.20
特集 リスクマネジメント教育をどう進めるか		企業と人材	817 03.6.20
リスクマネジメントからみた品質管理(安封昂雄) eラーニングによるコンプライアンス教育の実践(臼井弥生) 人事教育担当者のためのリスクマネジメント入門(角測 渉)			
特集 技術経営教育で競争力を高める		人材教育	175 03.7
いま、日本に求められるMOTの課題と挑戦(寺本義也) 技術テーマを事業化し、マネジメントするための教育デザイン6つのヒント(籠屋邦夫)			
キャリア形成システムと人材育成	志手哲也	能力開発21	24-6 03.6
V 労働政策			
60. 総記			
国立大学法人化と労働関係(3)	深谷信夫	労働法律旬報	1546 03.2下旬
61. 雇用政策			
*男女雇用機会均等法労働基準法(女性関係等)育児・介護休業法・パートタイム労働法解釈便覧			
厚生労働省雇用均等児童家庭局監修	21世紀職業財団		B6.29 02.12
62. 賃金政策			
*公務員給与改定の勧告資料		人事院総務局	A4.1袋 03.8
63. 労働基準政策			
*労働基準法労働時間実務事典 改訂新版 厚生労働省労働基準局賃金時間課監修 労務行政			B5.302 03.3
*詳細!改正労基法「解雇ルール」のすべて	渡邊 岳	日本法令	A5.283 03.8
65. 社会保障, 社会福祉			
サービス面と財源のバランス問題深刻に 被保険者の対象を20歳以上とする可能性も			
	あけぼの総合企画部	あけぼの	20-6 03.3
医療保険の未加入者と家計の医療支出	周 燕飛	海外社会保障研究	143 03Summer
特集 第7回厚生政策セミナー『子ども, 家族, 社会-少子社会の政策選択』		海外社会保障研究	143 03Summer
西欧諸国における家族政策と低出生率(講演)(ゲルダ・ネイヤー) 午後の部(パネルディスカッション)(編集:勝又幸子) 欧州の一部の先進国における少子化とその対策(講演)(アントニオ・ゴリーニ) 家族, 社会保障および社会保険(ヴァインフリート・シュメール)			
日米の働く母親と子育て支援	白波瀬佐和子	海外社会保障研究	143 03Summer
新報酬関連通知と運営基準改正のポイント	時田純, 猿原孝行, 川渕孝一	介護保険情報	3-12 03.3
地域の福祉力を高めよう!			
西田良枝, 浅野史郎, 山本和儀, 山本尚子, 大熊由紀子, 堂本暁子, 辻哲夫, 曾根直樹, 野沢和弘, 北村彰			
指田裕司, 安積遊歩, 小比類巻勲, 西田俊光		介護保険情報	4-4 03.7
まちづくりの視点から介護保険を見直そう(座談会)(石田光広 笹井肇 池田省三 鏡論)		介護保険情報	4-4 03.7
総報酬制実施後の社会保険料負担	桑野里美	関西経協	57-3 03.3
老人保健制度を通じた地域間再分配	根岸毅宏	経済学論纂(中央大)	43-3/4 03.3
精神保健福祉におけるグローカリゼーションの意味するもの	岡村正幸	月刊福祉	86-6 03.4
介護保険満3年介護保険枠外の立場からの報告	中村清子	月刊社会民主	578 03.7
介護保険の財政と改革(下)	田近栄治, 油井雄二	健康保険	57-3 03.3
電子レセプトが普及した韓国の医療保険(1)	西山孝之	健康保険	57-3 03.3

平成15年度の介護報酬改定について	健康保険組合連合会医療部	健康保険	57-3	03.3
韓国医療保険レポート	須藤武徳	健康保険	57-6	03.6
高齢化と老人医療	藤本建夫	甲南経済学論集	43-1	02.6
特集 小泉構造改革で破壊される社会保障		国公労調査時報	487	03.7
老後の不安を増幅する「年金改革」(久昌以明) 年金「改革」の焦点と改善方向を考える (杉浦公一)		介護保険制度の建前と介護現場の実情 (中村和司) 失業期間が長期化するもとで引き下げられる給付内容 (高城慶生) 小泉構造改革で医療はどうなるのか (中 重治) 国の責任を放棄する都道府県単位の財政運営に反対 (飯塚 勇)		
介護保険法の成立過程にみる「隠れた論点」	水浩一	社会学・社会福祉学研究 (明治学院大)	114	03.3
社会福祉現場における新任職員の“悩み”の諸相	深谷美枝, 渡辺利子, 井上浩	社会学・社会福祉学研究 (明治学院大)	114	03.3
ソーシャルワークにおける「聴く」ということ	久保美紀	社会学・社会福祉学研究 (明治学院大)	114	03.3
北米医療界への浸透と視点枠組み及び因果連鎖の現状	荒井耕, 渡辺明良, 市川雅人, 高橋淑郎	社会保険旬報	2164	03.3.1
医療保障制度の方向性 (上)	菊池馨実	社会保険旬報	2174	03.6.11
国民皆保険制度の戦略的運営の研究 (3)	橋本英樹	社会保険旬報	2174	03.6.11
「国民保険」の実現に向けて (九)	喜多村悦史	社会保険旬報	2174	03.6.11
日本にも「病院格付け」時代がやってきた!	川渕孝一	社会保険旬報	2174	03.6.11
医療保障制度の方向性 (下)	菊池馨実	社会保険旬報	2175	03.6.21
患者本位の医療の質を実現するために	上原鳴夫	社会保険旬報	2175	03.6.21
国民皆保険制度の戦略的運営の研究 (4)	橋本英樹	社会保険旬報	2175	03.6.21
21世紀型の社会保障は生活保障改革等で実現		週刊社会保障	2239	03.6.23
特集 介護保険制度と地域福祉		人権と部落問題	55-8	03.7
介護保険制度の現状から人権を考える (座談会) (板原健一 折田孝一 中島裕彦 三輪道子 司会: 谷勇男)				
介護保険で問題が噴出しつづけるのはなぜか (真田 是)				
障害者福祉における支援費制度とは何か (下)	峰島 厚	賃金と社会保障	1340	03.2下旬
保育をめぐるコストと質	大宮勇雄	賃金と社会保障	1340	03.2下旬
介護保険下の特養ホームの新賃金制度		賃金と社会保障	1347	03.6上旬
介護保険制度下の在宅介護支援センターの活動実態	佐藤卓利	賃金と社会保障	1347	03.6上旬
児童・家族問題への早期公的介入システムの構築に関する研究 (1)	志村祐子, 庄子一江	東北福祉大学研究紀要	27	03.3
児童・家族問題への早期公的介入システムの構築に関する研究 (2)	遠藤克子, 坂本真一	東北福祉大学研究紀要	27	03.3
続・社会福祉学方法論の基本問題	田中治和	東北福祉大学研究紀要	27	03.3
知足社会のすすめ	中江章浩	東北福祉大学研究紀要	27	03.3
医療系学生の社会福祉に関する意識	橋本彩子	日本女子大学大学院人間社会研究科紀要	9	03.3
介護保険における手話通訳に係る連携の課題	奥野英子, 木下武徳	日本女子大学大学院人間社会研究科紀要	9	03.3
国民年金への期待は増大		ねんきん	44-7	03.7
生活保護をめぐる野宿者運動 (2)	長田昌憲	早稲田大学大学院法研論集	106	03.6
*年金はどう変わるか	竹本善次	講談社	B40.186	03.9
66. 労働法				
労働法の改正の動向について (講苑)	塚崎裕子	中央労働時報	1014	03.6
闘いの場は参議院に	労働情報編集部	労働情報	625	03.6.15
67. 労働判例				
住友生命既婚女性差別事件大阪高裁で勝利の和解	寺沢勝子	労働法律旬報	1546	03.2下旬
賃金五〇%カットに合理性なし	増田正幸	労働法律旬報	1546	03.2下旬
勤務割変更の拒否を理由とする解雇の正当性	本久洋一	労働法律旬報	1552	03.5下旬
高度な職責を期待された従業員の試用期間とその解約	原 俊之	労働法律旬報	1552	03.5下旬

VI 世界労働

71. アジア—					
インド茶産業の困窮労働組合の次のステップは？	IUF	ASIANFOODWORKER	33-1	03/4	
韓国財閥企業における大卒ホワイトカラーの賃金管理	佐藤静香	大原社会問題研究所雑誌	536	03.7	
民主化運動下のランゲーン日記抄（一九八八年六月一九日～八月三十一日）	伊野憲治	北九州市立大学法政論集	30-3/4	03.1	
韓国全国金属産業労働組合（「金属労組」）の創立	相田利雄	社会志林（法政大）	49-3	03.3	
中国社会主義市場経済における労使関係	石井知章	明大商学論叢	85-1	02.12	
73. ヨーロッパ—					
1970年代の労使関係（イタリア）	河野 穰	桜美林大学経営政策論集	2-1	03.3	
スウェーデンの年金改革から何を学ぶべきか	丸尾直美	週刊社会保障	2239	03.6.23	
協調時代のイタリア労働組合の展望（2）	マリーノ・レジーニ、イダ・レガーリア	訳：『生活経済政策』編集部	生活経済政策	493	03.6
協調時代のイタリア労働組合の展望（3）	マリーノ・レジーニ、イダ・レガーリア	訳：『生活経済政策』編集部	生活経済政策	494	03.7
世界高齢化の中で	坪井俊宣	ねんきん	44-7	03.7	
75. 北アメリカ—					
アメリカ年金基金におけるETIと社会的スクリーン投資	森 祐司	証券経済研究	42	03.6	
アメリカ年金制度の改革	磯谷 玲	証券経済研究	42	03.6	
アメリカにおける男女間賃金格差と女性の活用（1）	竹内一夫	東京経大会誌	234	03.3	
アメリカ労働運動をどうとらえるか	戸塚秀夫	労働法律旬報	1546	03.2下旬	

VII 歴史

81. 労働史（日本）—					
後藤象二郎より買収以後の三菱高島炭坑	小林正彬	経済系（関東学院大）	215	03.4	
*母と子でみるおれは、にんげんだ	小松 豊	草の根出版会	A5.135	03.11	
*神戸市社会調査報告書〔含：兵庫県〕第1巻	近現代資料刊行会企画編	近現代資料刊行会	A5.306	03.9	
*神戸市社会調査報告書〔含：兵庫県〕第2巻	近現代資料刊行会企画編	近現代資料刊行会	A5.306	03.9	
*神戸市社会調査報告書〔含：兵庫県〕第5巻	近現代資料刊行会企画編	近現代資料刊行会	A5.252	03.9	
*神戸市社会調査報告書〔含：兵庫県〕第7巻	近現代資料刊行会企画編	近現代資料刊行会	A5.241	03.9	
*神戸市社会調査報告書〔含：兵庫県〕第8巻	近現代資料刊行会企画編	近現代資料刊行会	A5.240	03.9	
*神戸市社会調査報告書〔含：兵庫県〕第14巻	近現代資料刊行会企画編	近現代資料刊行会	A5.248	03.11	
*神戸市社会調査報告書〔含：兵庫県〕第16巻	近現代資料刊行会企画編	近現代資料刊行会	A5.259	03.11	
*神戸市社会調査報告書〔含：兵庫県〕第17巻	近現代資料刊行会企画編	近現代資料刊行会	A5.250	03.11	
*神戸市社会調査報告書〔含：兵庫県〕第21巻	近現代資料刊行会企画編	近現代資料刊行会	A5.259	03.11	
*神戸市社会調査報告書〔含：兵庫県〕第23巻	近現代資料刊行会企画編	近現代資料刊行会	A5.299	03.11	
*神戸市社会調査報告書〔含：兵庫県〕第24巻	近現代資料刊行会企画編	近現代資料刊行会	A5.267	03.11	
*神戸市社会調査報告書〔含：兵庫県〕第25巻	近現代資料刊行会企画編	近現代資料刊行会	A5.289	03.11	
*神戸市社会調査報告書〔含：兵庫県〕第28巻	近現代資料刊行会企画編	近現代資料刊行会	A5.253	03.11	
*神戸市社会調査報告書〔含：兵庫県〕第30巻	近現代資料刊行会企画編	近現代資料刊行会	A5.271	03.11	
*神戸市社会調査報告書〔含：兵庫県〕第31巻	近現代資料刊行会企画編	近現代資料刊行会	A5.236	03.11	
*神戸市社会調査報告書〔含：兵庫県〕第32巻	近現代資料刊行会企画編	近現代資料刊行会	A5.280	03.11	
*神戸市社会調査報告書〔含：兵庫県〕第34巻	近現代資料刊行会企画編	近現代資料刊行会	A5.277	03.12	
*神戸市社会調査報告書〔含：兵庫県〕第41巻	近現代資料刊行会企画編	近現代資料刊行会	A5.255	03.12	
*神戸市社会調査報告書〔含：兵庫県〕第43巻	近現代資料刊行会企画編	近現代資料刊行会	A5.259	03.12	
*神戸市社会調査報告書〔含：兵庫県〕第44巻	近現代資料刊行会企画編	近現代資料刊行会	A5.311	03.12.3	

82. 労働史 (外国・国際)				
女性史の中の「ホワイトカラー・ガール」	小松由美	日本女子大学大学院人間社会研究科紀要	9	03.2
83. 労働・社会政策史 (日本)				
健保・国保と国庫負担	永廣 顕	甲南経済学論集	43-1	02.6
協調会から中央労働学園へ	高橋彦博	社会志林 (法政大)	49-4	03.3
85. 労働運動史 (日本)				
戦後労働運動の真実を求めて (2)	竹前栄治, 佐藤一, 三宅明正, 遠藤公嗣, 岡部史信	東京経大会誌	233	03.2
* 証言戦後労働運動史	宝樹文彦	東海大学出版会	A5.423	03.11
87. 社会主義運動史 (日本)				
河上肇の経済学と人物について (日記抄)	中江平次郎	河上肇記念会会報	76	03.6
* 神奈川県下の治安維持法犠牲者	富矢信男編	治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟神奈川本部	B5.183	03.6
88. 社会主義運動史 (外国・国際)				
R. ヘベルレ 「国民社会主義革命の社会学について - 1934年のメモ」	中道壽一	北九州市立大学法政論集	30-3/4	03.1
国際労働者協会と組織原則 II	荒川 繁	釧路論集 (北海道教育大)	34	03.2
ブルードン・コレクション	大塚 桂	駒沢大学法学部研究紀要	61	03.3.3
89. 諸社会運動史				
Verbal subversion and satire in Japan, 1937-1945, as documented by the special high police	Detlev Schauwecker	Nichibunken Japan review	15	03.
食糧メーデーと天皇プラカード事件 (2)	松島松太郎	聞き手: 吉田健二 大原社会問題研究所雑誌	535	03.6
部落解放運動八〇年の歴史的教訓	石岡克美	人権21	164	03.6
自由民権と地方自治 (1)	中澤市朗	秩父事件研究顕彰	5	1987.8
秩父事件と山中谷	清水吉二	秩父事件研究顕彰	5	1987.8
風布村の周辺	吉瀬 総	秩父事件研究顕彰	5	1987.8
自由民権と地方自治 (2)	中澤市朗	秩父事件研究顕彰	6	1989.12
秩父事件における「自由党」と「自由」観	金 弼東	秩父事件研究顕彰	6	1989.12
福田雅洋『日本近代社会成立期の民衆運動』ノート	吉瀬 総	秩父事件研究顕彰	7	1993.6
秩父事件における野上組	飯島 積	秩父事件研究顕彰	7	1993.6
私の歴史運動	松本成美	秩父事件研究顕彰	7	1993.6
加藤政之助の人と思想	鈴木義治	秩父事件研究顕彰	8	1994.11
秩父事件大野原村下小川橋の陣地と皆野村の本陣	飯島 積	秩父事件研究顕彰	8	1994.11
秩父事件研究の新動向	中澤市朗	秩父事件研究顕彰	8	1994.11
秩父養蚕業史と秩父事件史	柿原謙一	秩父事件研究顕彰	8	1994.11
上吉田村・下吉田村と石間村三か村の秩父事件	飯島 積	秩父事件研究顕彰	10	1999.3
秩父事件における農民の秩序意識・権力観	高島千代	秩父事件研究顕彰	10	1999.3
馬流後まで続いた群馬の闘い	黒沢正則	秩父事件研究顕彰	10	1999.3
特集 中里村と秩父事件 (シンポジウム)		秩父事件研究顕彰	11	00.3
自由民権運動と秩父事件 (報告) (篠田健一) 上州民権と秩父事件 (報告) (岩根承成) 山中谷と秩父事件 (報告) (黒沢正則) 中里村の秩父事件 (報告) (飯島 積)				
上野村の秩父事件	飯島 積	秩父事件研究顕彰	12	01.3
秩父事件研究顕彰運動の現代的意義	田崎公司	秩父事件研究顕彰	12	01.3
日本史概説書・日本史辞典等にもみる自由民権運動と秩父事件	篠田健一	秩父事件研究顕彰	12	01.3
本陣崩壊を考える	黒沢正則	秩父事件研究顕彰	12	01.3
「新しい歴史学」と自由民権運動研究	安在邦夫	秩父事件研究顕彰	13	03.3
田代栄助と本陣崩壊	黒沢正則	秩父事件研究顕彰	13	03.3
秩父事件と蚕糸農民の主体形成	島田和雄	秩父事件研究顕彰	13	03.3
秩父自由困民党軍の信州への転進と北相木村の秩父事件	飯島 積	秩父事件研究顕彰	13	03.3

都市民権派知識人の秩父事件認識とその行動	福井 淳	秩父事件研究顕彰	13	03.3
福島・喜多方事件の今日的意義	田崎公司	秩父事件研究顕彰	13	03.3
山路来てその日も過ぎて	中嶋幸三	秩父事件研究顕彰	13	03.3
明治初期、自由民権運動の展開と相剋	飯田 鼎	千葉商大論叢	40-4	03.3
特集 高松差別裁判糾弾闘争70周年		部落解放	520	03.7
高松差別裁判事件の意義（秋定嘉和）高松闘争は現地香川に何をもたらしたか（山下隆章）高松闘争－戦後の展開（喜岡 淳）高松結婚差別裁判の真相（朝治 武）事件の経緯と差別裁判糾弾の闘い（仲林弘次）				
戦後『婦人公論』における「女性解放」論	古河史江	歴史評論	636	03.4
* 平民社の時代	山泉 進	論創社	B6.406	03.11
* 松川事件と広津和郎	木下英夫	同時代社	A5.278	03.12
* アフガニスタン女性の闘い				
アフガニスタン国際戦犯民衆法廷（ICTA）	実行委員会編訳	耕文社	B6.156	03.7
* 解放理論の素描	小森龍邦	部落解放同盟広島県連合会出版局	B6.134	03.99

●「家族契約」の国際比較研究
青柳涼子著——A5判・二九〇頁・五六〇〇円

農家家族契約の日・米・中比較
家族契約（労働報酬、農業資産の分与、老親の生活保障等の合意文書）をそれぞれの社会の伝統的家族制度と関連つけて考察。
●フランス近代家族史の性格について新しい側面を照射！
伊丹一浩著——A5判・二六〇頁・五八〇〇円

民法典相続法と農民の戦略
現地で収集した手稿史料及び六六年農業アンケートを元に農民レベルで行われていた相続戦略を分析した農業史・農村史。
ジャック・モイユ／丸山茂・高村学人訳——A5判・八二頁・一〇〇〇円

家族の政治社会学——ヨーロッパの個人化と社会
伝統的な社会統制を批判し私的世界と公的世界の相互性に着目する。
川島浩平著——A5判・二六〇頁・四八〇〇円

都市コミュニティと階級・エスニシティ
近隣住区の交流の歴史を通して、アメリカ社会の社会的流動性を解明。
小内透・酒井恵真編著——A5判・三九〇頁・六八〇〇円

日系ブラジル人の定住化と地域社会——群馬県太田・大泉地区を事例として
出稼ぎから定住へ新たな局面を迎える外国人労働者問題に迫る。
武田尚子著——菊判・四六〇頁・八七〇〇円

マニラへ渡った瀬戸内漁民——移民送出母村の変容
聞き取り調査から移民送出と人的ネットワークによる母村の変容を分析。
伊地知紀子著——A5判・二八〇頁・五六〇〇円

生活世界の創造と実践——韓国・济州島の生活誌から
人間分節の虚と実／生活を営む行為と論理／生活共同原理の創造性。
高橋 満著——A5判・二四〇頁・五四〇〇円

地主支配と農民運動の社会学
社会学の視点で、地主の経営分析より地主・小作の社会関係を分析。
タニエバロウ著／伊藤るり・小林英里訳——四六変・二〇〇頁・一五〇〇円

シリース 1 国際フェミニズムと中国
コメンタリー・秋山洋子・小林富久子・岡真理・坂元ひろ子・江上幸子・竹村和子
中国における「近代」と「女性」の関係とは？歴史史的な視点から再考。
ヴラダ・キー著／森本恭代編集——四六変・二〇〇頁・一五〇〇円

シリース 2 グローバル化とジェンダー表象
「国際ジェンダー研究」
コメンタリー・伊藤谷登土翁・鄭映恵・千野香織・河口和也・伊藤るり
現代の様々な文化表象をジェンダーの視点に基づいて分析。図版多数。

御茶の水書房

〒113-0033 東京都文京区本郷5-30-20
電話03(5684)0751 / <http://homepage1.nifty.com/ochanomizu-shobo/>

▶ 価格は税別 ◀